



「伝える」

『うまく話せるようになりたい。』と思っている方は多いと思います。私もその一人です。同じ事でも話し手が違っても違うのか！と思うことがよくあります。「もっと聞いてみたい、面白い！」そんな話し手になりたいといつも思っていました。

人間関係でも仕事においても大切な行為が「話す」ということです。毎日私達はたくさんの方と話しています。家族と同僚とお客様と友達と買い物に行くと店員さんと、はたまたご近所の方と立ち話なんてこともありますよね。私も仕事柄人とはよく話します。言葉の世界といわれるラジオですから、魅力的な話し方ができる人になりたいと常々思っております。最近ある番組を収録していた時のことです。この番組は若い音楽家の方二人が、音楽談義や経験を話してくださるという月1回の番組です。二人は一生懸命話してくれます。

1ヶ月の間にこんなことがあった、あんなことがあった、楽しかったこと大変だったこと・・・話は続くのですが、よくわからない上にあまり面白くないのです。本人達も何を話しているのかだんだんとわからなくなったようで、内容を整理してもう一度収録することになりました。1回目よりはずいぶんまとまり、すっきりした内容となったわけですが・・・本人達としても満足いく番組にはなっていないようでした。

その日はお互いのスケジュールの都合もあり、3回目の取り直しとはいかなかったわけですが、どうもモヤモヤ感が残る番組となってしまいました。収録が終わった時に二人が言いました。「ごめんなさい。うまく話せなくて・・・」と。

その時にふと思ったのです、「うまく話す」ということはそれほど大事なことはないのかもしれないなあと、それよりも「気持ちが届く話、ちゃんと伝わる話」というほうが大切なんではないだろうか。「うまく話す＝伝わる」ということにはならないと思います。話し下手の方でも、言いたいこと伝えたいことがキチンとある方の話は、あきることなくしっかり聞きたいと思うものですから。どんなにうまく、そしてきれいに話をしても、「伝えたい」という気持ちがなければ、人の心をくすぐることはできないのではないのでしょうか???

以前大先輩のラジオディレクターの方から言われたことがあります。「伝えたい事は番組中1つでいい、そんなに多くのことを伝えられるほど人間は器用ではないから・・・」。今にしてこの言葉が身にしみる思いです。楽しく面白く笑いやユーモアも取り入れてと・・・そんな表面ばかりを気にしていると、本質が見えなくなるということなんでしょうね。今日はうまく話せた

つもちゃんの

ドト
バタ
ラジオ日記

・・・というのは、自己満足にすぎないの
かもしれません。

最近、人間関係が希薄になり、それによ
り不可解な事件がたくさん報道されていま
す。職場・学校・家庭とあらゆる場所での
「ハラスメント」が問題となっています。
話をしても仕方が無い、わからない人には

わからないと無関心を装っている、そんな
世界がひろがっているようにも思います。
「話す」というのではなく「伝える」という
ことが問われているのではないかなあと思
うのです。何を伝えるのか？ 何を伝えて
いくのか？ それが問題ではありますが(笑)

お す す め 取材日記

「珈琲倶楽部」

丸亀市で自家焙煎で丁寧に豆を煎るおいしい珈琲ショップを見つけました（取材もさ
せていただきました）オーナーの大西一暢さんは自ら「煎り人」とおっしゃいます。持
ち帰りの珈琲もおすすめですが店内で飲む珈琲は格別、バリスタ（エスプレッソを入れる
専門職）もいるという本格的なショップですよ、但しシステムが少々変わっております。

「前払い・ヘルプサービス」というシステムでまずお客様は正面カウンターで注文を
し、お金を払い、席へ付く（お水やお絞りは自分で確保）後はおいしい珈琲が届くの
を待つだけ、珈琲を入れるのに集中したいとオーナーが考えだしたシステムです。

おいしい珈琲を頂くためにはちょっとお手伝いが必要なのです！ 今のおすすめは水
出し珈琲、あと個人的にはエスプレッソです。はじめてエスプレッソをおいしいと思
いました。

<場所>丸亀市今津町259-10

<営業>6:30~18:00（休み：不定休）

<電話>0877-24-5925

